

# 【 会 議 録 】( 概 要 )

日時:平成 20 年 6 月 12 日 ( 木 ) 18:00 ~ 21:00

会議名	越谷市自治基本条例審議会 第 2 部会 第 3 回会議	場所	越谷市役所第二庁舎 3 階 会議室
件名 議題	協議事項 ( 1 ) 第 5 回会議以降の開催時間について ( 2 ) 共通検討事項について ( 3 ) 個別検討事項について		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
出席者	<b>出席委員</b> 小河原部会長、高橋副部会長、有元委員、伊東委員、宇佐美委員、大熊委員、加藤委員、帆苅委員、佐々木委員 ( 9 名 ) <b>欠席委員</b> なし <b>事務局</b> 立澤企画課長、田中企画課副主幹、斉藤同主事 ( 3 名 ) 支援者：特定非営利活動法人越谷 N P O センター ( 3 名 ) <b>傍聴者</b> なし		
内 容	<b>合意・決定事項等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 月 26 日 ( 木 ) に開催する第 5 回会議は 18:00 から 21:00 までとした。</li> <li>・ 7 月 3 日 ( 木 ) に開催する第 6 回会議は 18:00 から 21:00 までとした。</li> <li>・ 7 月 10 日 ( 木 ) に開催する第 7 回会議は 18:00 から 21:00 までとした。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ( 確認事項 ) 部会で検討したものは、部会案として運営・調整委員会での調整を経て、全体会に提案される。</li> <li>・ 第 2 部会案として、条例前文に「農」あるいは「農業」を含む言葉を入れることについて、次回以降に改めて検討することとした。</li> <li>・ 条例前文について各委員から出された意見は、事務局が原文のまま大まかに分類する。分類・清書したものは、引続き検討する際の資料として、次回会議に配付することとした。</li> <li>・ 条例前文について出された意見・キーワードの選別や重要度の判断は、次回会議で行うこととした。</li> <li>・ 次回会議では、意見・キーワードの仕分けを行いながら、前文・総則・基本理念それぞれに追加すべき内容について検討することとした。</li> <li>・ 次回会議までに、今回の会議で出た以外に追加する意見を各自で再検討する。追加意見があれば次回会議で検討し、加えていくこととした。</li> <li>・ 次回会議では、主要検討事項及び部会個別検討事項 ( 議会・市長 ) について、細部に内容の検討を行うこととした。</li> </ul>		

## 主な意見、発言等

### (2) 共通検討事項について

- ・ 条例に盛り込むべき内容として、「自治」のあり方の方法論（システム・手続き = How）と、市の「あるべき将来像」（目標・方向 = What）の2つがあると思うが、越谷市は後者により重点を置いて考えていけばいいのではないだろうか。
- ・ 環境として現在の自然を残したいという思いや、将来の食糧事情を考慮し、産業としての農業や農業従事者を大事にしたいという思いがあるので、ぜひ、農業からの視点について前文に盛り込みたいと思う。これは、せっかくよい環境があるので、遊休地を活用することで自給率を上げる方策がないだろうかという視点から申し上げた。
- ・ 緑を残す、とか、緑が多い、という視点も必要と思う。
- ・ 緑を持続させるという意味では、公園の充実もそれと関連する。
- ・ 産業として農業を残していくのは、なかなか困難な状況もある。「農業」は産業からの視点で、「緑を残す」ということは環境からの視点であるので、完全に重なるものではないと思う。
- ・ 地産地消という考え方も必要と思う。
- ・ 現在の市の価値を見出し、その価値を高めるという考え方が必要だと思う。
- ・ 自然資源としての農業は、これから脚光を浴びると思う。そうなれば自ずと自然も増えるのではないだろうか。
- ・ 人的資源としては、多様な世代と多様な考え方があることに価値を見出せる。
  
- ・ 協力と英知により、いつまでも住み続けたくなるまちづくりということを盛り込んではどうか。
- ・ オンブズパーソン制度について、この部会のどこかで検討できればと考えている。
- ・ 安全・安心の視点は必ず必要になってくると思う。
- ・ 協働や地域活動の重要性、知る権利と知らせる義務についても、前文に盛り込んでいければと考えている。
- ・ 性別に係わりなく、人権の守られる政策が必要と思う。
- ・ 主張はするが、それに応じた負担もあるのだという内容を前文に盛り込んでいきたい。
- ・ 治安に関する活動についても盛り込んでいきたい。
- ・ 越谷独自の「らしさ」が欲しいと思う。思うに、やはり「水」と「緑」がセールスポイントになるだろう。「保存と発展」という内容も考えたらどうか。
- ・ 3つの自立、すなわち、市の自立・地域の自立・一人ひとりの自立が必要ではないだろうか。
- ・ こうなって欲しい、ということペーパーにまとめた。共通するのはスピード感が必要だということ。
- ・ 「まちや社会は変えられる」という考え方をぜひ盛り込んでいきたいと考えている。
- ・ 条例個々の規定については、恒久的なものでなく、その時その時の課題を踏まえた書き方をし、「自治力」といったものが高まることによりそれらの課題がクリアされたならば、条文を改正するという考え方もあると思う。
- ・ 今、越谷に伝統文化が乏しいことから、条例の前文に「伝統文化」を入れることで、その「らしさ」を作っていく事ができるのではないか。
- ・ 越谷の文化については、市で発行している冊子等が参考になる。「越谷ふるさと散歩」や「越谷自然探訪」などがある。
- ・ 総則や基本原則に「協働でやりましょう」という文言があってもいいと思う。

### (3) 個別検討事項について

- ・ 議会の二元代表制という検討ポイントは耳慣れないが、検討する必要があるのか。
  - ・ 議会の責務で、二元代表制については、特別なことではなく、一般的な検討事項として取り上げていくことも必要だと思う。
  - ・ 議員定数などは議会が決めることであるが、私達にとって必要な事は、今より参加しやすい選挙制度にすることや、市民の声をどう市政に反映させるか、などではないかと思う。
  - ・ 議会の権限がどういうものを理解し直すには、その前提として、何を議会が決めて、何を市民が決められるのかを踏まえていたいと思う。例えば、「議会がどうあるべきか」について議論がされてもよいのではないか。次回会議で議論してはどうか。
  - ・ 議会については、検討すべき項目が多いような印象がある。
- (・ 委員から参考図書の紹介があった。「六訂版 行政法の解説」「九訂版 地方自治法の解説」(以上一橋出版)、「自治基本条例のつくり方」(松下啓一著、ぎょうせい))